

突然ですが・・・、「今日は子どもの話を聴きましたか？」

1933年生まれの間行動学博士、能力・モチベーション開発の専門家であるデニス・ウェイトリーは、「子どもの話を聴く大切さ」という詩を書いています。



子どもの話を聴く大切さ
批判ばかりする親にならないように、おすすめします
子どもの話に耳を傾けよう

今日、少し
あなたの子どもが言おうとしていることに耳を傾けよう
今日、聴いてあげよう あなたがどんなに忙しくても
さもないと、いつか子どもはあなたの話を聴こうとしなくなる
子どもの悩みや要求を聞いてあげよう (後略)

おうちの方は、いつも忙しいです。しかし、この詩を読むと、忙しくてかまっていられなかったことに気づき、子どもに対して、もっと優しく関われるのではないのでしょうか。子どもの話を聴くことの大切さは分かっている、なかなか毎日にはできないものですね。そこで、「子どもの話を聴く8つのポイント」がありますので、参考にさせていただければと思います。

- ①子どもの話を真剣に聴く。
- ②目を見て体を向けて聴く。
- ③相づちを入れて反応する。
- ④最後までちゃんと聴く。
- ⑤絶対に否定しない。
- ⑥答えをすぐ言わない。
- ⑦子どもの言葉を繰り返す。
- ⑧どうしても聴けない時はちゃんと謝る。



さっそく今日、いくつか実践してみたいかでしょうか。子どもは、話したいことがいっぱい。「きょうね、きょうね・・・」「ぼくね、ぼくね・・・」「学校でね、・・・」

自分の話を、相手に聴いてもらえる楽しさは、コミュニケーションの基本です。コロナ禍でのマスク生活の中でも、変わらず大切にしていきたいものですね。

教育相談係
担当 高田・河原井

き り と り

スクールカウンセラー相談 希望書

6月11日(金)締め切り

6月22日(火)の相談を希望します。

(※必ず第3希望まで希望順位をご記入いただきますようお願いいたします。)

9:20	10:40	11:40

年 組 児童名

保護者氏名